

# すぐに取り組める!

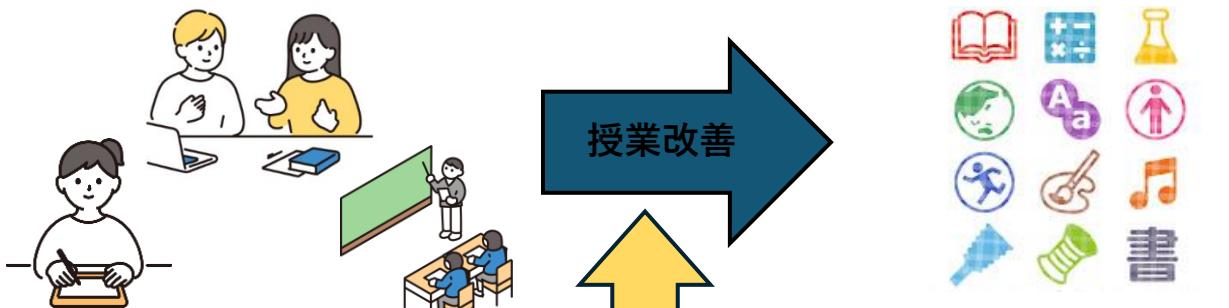
## 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実 【生活科編】

作成:千葉県教育庁

東葛飾教育事務所指導室

「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実し、  
誰一人取り残さない形で、

「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善につなげる



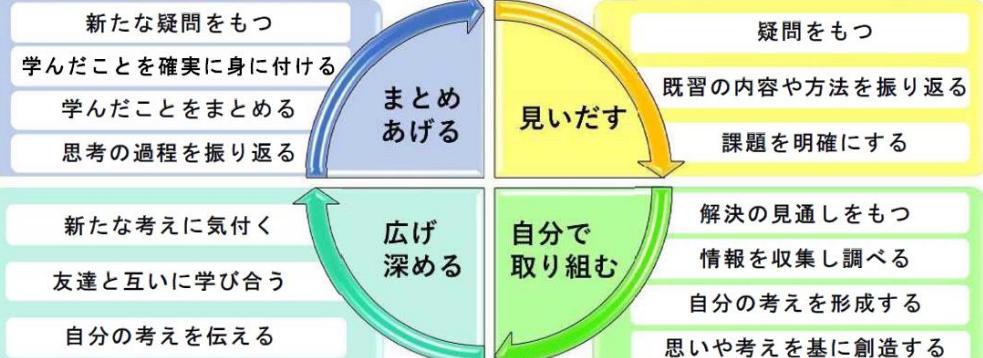
### 生活科の目標

具体的な活動や体験を通して、身近な生活に関わる  
見方・考え方を生かし、自立し生活を豊かにしていく。

### 生活科の学習

よりよい生活に向けて思いや願いを実現する学習過程

### 「思考し、表現する力」を高める実践モデルプログラム



# ポイント① 幼児期の経験（主体的な遊び）をつなげる

幼児期における「遊び」を通した総合的な学びから他教科等における学習に円滑に移行し、**主体的に自己を発揮しながら、より自覚的な学びに向かうこと**が可能となるようにすること。

参照:小学校学習指導要領 解説 生活編

## ☆指導のポイント☆

◎幼児期の遊びを通した学びを生活科を中心とした学習において発揮できるようにし、児童の思いや願いをきっかけとして始まる学びが自然に他教科等への学習につながるようにする。

落ち葉を使って、洋服を作って、  
ファッショショーンショーをしたんだ！

園では、どんな遊びをしてきましたか。



幼児教育と小学校教育がつながるってどういうこと？  
(幼児教育及び小学校教育関係者向けの参考資料)  
リンク: [幼児教育の重要性・遊びを通した学び](#) (文部科学省)



# ポイント① 児童全員の「思いや願い」を生かす

身近な人々、社会及び自然と直接関わる活動や体験を重視し、子どもたち一人一人が抱く「思いや願い」を生かす。



自分で作ったおもちゃで遊ぶのは楽しいね!  
これから、もっとレベルアップしたいんだけど、みんなはどんなふうにしたいですか?

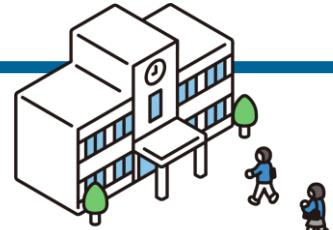
参照:小学校学習指導要領 解説 生活編

## ☆指導のポイント☆

◎教師の願い(学習のねらい)を一方的に教えるのではなく、子供の「!(気付き)」や

「?(疑問)」を引き出し、「思いや願い」を生かす。 **個別最適な学びへの支援**

◎活動や体験を通して得られた、新たな気付きや疑問について、言語化したり、友達に伝えたり(表現)する場を設定し、思いや願いの実現に向ける。 **個別** ←→ **協働**



## ポイント② 思考や表現が一体的に繰り返し行われるようにする

思いや願いの実現に向けて活動する中で、具体的に考えたり表現したりすることやそれを繰り返すことにより、自分自身や自分の生活について考え、表現することができるようになる。

「考える」「表現する」の具体的な活動については『小学校学習指導要領 解説 生活編 p.14、15』を参照



学区で働く人たちの様子について  
どうやって伝えるといいかな?

学区探検で  
インタビューしたときのこと  
を劇にしてみようかな



### ☆指導のポイント☆

◎気付きを表現する時間を設ける。 → 気付きを自覚する

個別最適な学び

・対話・ワークシート(取りためて、振り返る)・ICTの活用

※活動や体験の時間を十分にとり、様々な気付きが生まれるようにする。

◎気付きを交流する時間を設ける。 協働的な学びへの支援

→ 新たな気付きが生まれる

→ 気付きが関連付けられる

あさがおのつるは、何に似ていますか。  
発見したことを友達と話してみて!

あさがおのつるがくるくるときれい  
に丸まって、ばねみたい!

すごいね!僕のは、反対側に  
伸びて、橋みたいになってるよ。  
写真に撮っておこう!

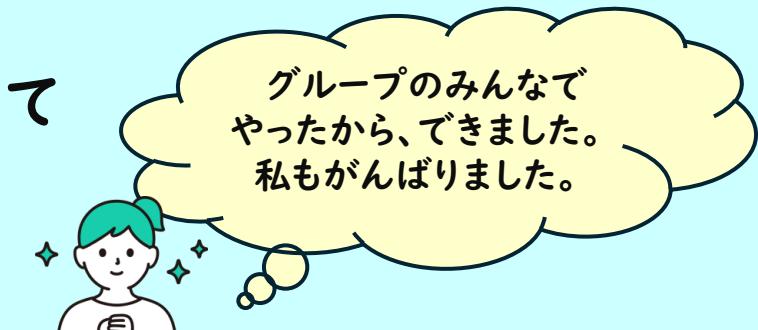
個別

協働

気付きの質の高まり

# ポイント③自分自身への気付きが生まれるようにする

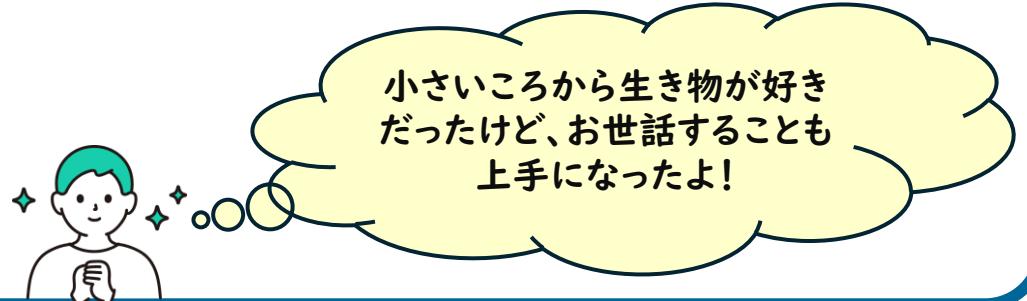
身近な人々、社会及び自然と直接関わる中で、それらについて気付くことができるようになるとともに、そこに映し出される自分自身や自分の生活に気付くことができるようになる。



参照:小学校学習指導要領 解説 生活編

## ◆自分自身への気付きとは◆

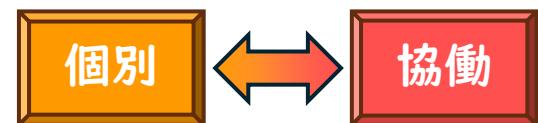
- 1 集団生活になじみ、集団における自分自身に気付く。
- 2 自分のよさや得意としていること、また、興味・関心を持っていることなどに気付く。
- 3 自分の心身の成長に気付く。



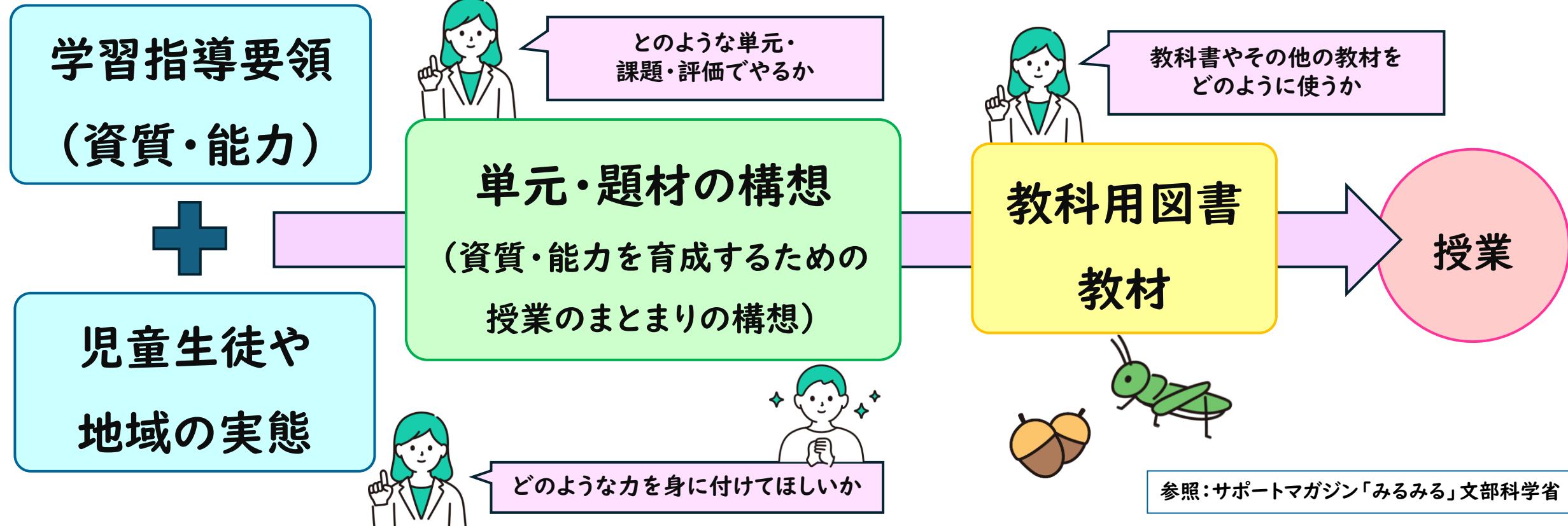
ともだちが一緒だと、力がわいてくるね。  
すてきな振り返りだね。  
みんなは、どう思っているかな?

## ☆指導のポイント☆

- ◎ポイント①②を踏まえ、活動や体験を言葉などによって振り返り表現する活動を位置づける。
- ◎児童の気付きに共感し、価値づける。
- ◎児童の気付きをつなぐ、「合いの手」のような教師の働きかけ、言葉かけを行う。

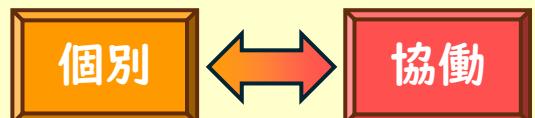


# ポイント④ | コマの授業づくりから単元をベースとした授業づくりへ



## ☆指導のポイント☆

- ・ポイント①～③を踏まえ、単元のまとめで、個別と協働の学びを考えていく。
- ・単元を始める前に、評価の計画をたてる。



# ポイント④学習指導を支える土台作り

## 教科指導と生徒指導の一体化（実施上の4つの視点）

### 生徒指導提要

令和4年12月

文部科学省

文部科学省

### ①自己存在感の感受

- ・自分も一人の人間として大切にされている。
- ・自己肯定感  
(「〇〇が好き!」「〇〇が苦手…」と素直に言える)
- ・自己有用感  
(〇〇ちゃんのお手伝いしたら、ありがとうって言われた!)



### ②共感的な人間関係

- ・失敗を恐れない学級。
- ・間違いやできないことを笑わない学級。
- ・どうすればよいかみんなで考える、創造的な学級。



### ③自己決定の場の提供

- ・「主体的・対話的で深い学び」の実現
- 思いや願いを生かす
- 自分で考えて、自分で作る、試す、工夫する。
- 気付いたことを言葉、絵、動作、劇化など  
多様な方法で表現する。



### ④安心・安全な風土の醸成

- ・事故や怪我がない学級（はさみ等の使い方の指導）
- ・いじめや暴力行為がない学級。（教師も言動に注意）
- ・個性や多様性を認め合う学級。

